

いわき民報

行所 いわき民報社
〒970 市田町四丁目一七番地
電話 二七六
社務部 市田町四丁目一七番地
電話 二七六
印刷部 市田町四丁目一七番地
電話 二七六
日刊 九月五日 九月六日
定価 一月 十圓 三月 三十圓
半年 六十圓 一年 一百一十圓

労働基準法実施細目

他人使用の事業全部に適用

労働法の施行ととも労働基準法監督も一日から陣巻をとり、平労働事務所に居住して店開きしたが、同法の實施細目要點はつぎのとおりである。

一、他人を使用して事業を営むものはすべてこの法律の適用を受ける。

二、八時間労働制と週給制が實施されるようになった。これと併せて使用者は原則として労働者代表との協定がなければ時間外労働および休日労働をさせる事が出来ない。

三、時間外労働をさせる場合には二割五分増賃金を支払わなければならない。

四、鐵道の特殊日勤および一晝夜交替、小規模郵便局の郵便電話および警察、消防の勤務などについては八時間制のかわりに十時間制がとられる。

五、小規模商業、興行、病院、旅館、飲食店などの事業については八時間制のかわりに九時間制がとられる。

六、女子および年少者の労働時間制限が實

鮮魚登録店追加

合計三十五店舗に
銀町(浦野和吉) 田町()
平山の鮮魚登録店は四日つぎの三店舗が追加された。これと併せて鮮魚の登録店が三十五店舗となった。これと併せて鮮魚協会の組織も整った。近き世話人会、市田庄二出張所(平山山岳會)は結成初の内(山岸佐之助)白頭會をかね三日一日湯本紹介の一助に働いてくれた。

この嘆きを聴け

戦災校児童の感想

P.T.A.精神に基いて市内中小學校教育、父兄及び生徒児童三位一体とした教育復興大會は六日午後一時から若女講堂で開くが、當日は縣せん出衆議院、參議院、縣會、市會の各議員を始め地方有識者にも招待状を發している。これに五、六百名になるものと見られ、非常な盛況を期している。特別に盛況を期しているが、四日まとまつた第一小學校児童の感想文中代表的ものを拾つてみると次の通りで、いづれも戦災により校舎を失つて満足な勉強が出来ないのを嘆いて心をうつものがある。

急募

製鐵工 若干名

製鐵工 若干名
平山製鐵所
平山製鐵所九七三

急募

急募

急募
急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

急募

